

ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	保育科 講師 荻原千史 (おぎはら ちふみ) OGIHARA Chifumi
所属	保 育 科
学位	修士 (音楽) (東京音楽大学)
資格・免許	中学校教諭専修免許状 (音楽) 高等学校教諭専修免許状 (音楽)
学歴・職歴	<学歴> 東京音楽大学音楽学部音楽学科器楽専攻 卒業 (学士 (音楽)) 東京音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻鍵盤楽器研究領域 修士課程 修了 (修士 (音楽)) <職歴> 山梨学院短期大学保育科 専任講師
担当科目	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 音楽Ⅲ 子どもと表現 子どもと表現特論 西洋音楽の世界 基礎演習 卒業演習Ⅰ・Ⅱ 社会人基礎力育成講座Ⅰ・Ⅱ
専門分野	音楽表現
現在の研究テーマ	保育における子どもの音楽的表現
競争的資金等の研究課題	—
所属学会	日本音楽教育学会 日本ダルクローズ音楽教育学会 日本音楽療法学会
メッセージ	音楽は子どもたちが自己表現できる一つ的手段です。一人ひとりの音楽の中に、言葉では表現できない子どもたちからのメッセージが隠れているかもしれません。学生の中に様々なことにチャレンジして、子どもたちの可能性を広げられる素敵な先生をお互いに目指しましょう。
教育	
2024年4月～2025年3月	
教育方針	限られた期間となる大学生活の中で、学生が学ぶことの面白さを味わえるようサポートしていきたい。また、子どもたちが豊かな体験のできる環境づくりを行える保育者養成を目指したい。

教育（つづき）

2023年4月～2024年3月

授業	授業の工夫	<p><音楽></p> <p>複数担当で同時に授業を進める科目のため、学生の取組み状況や理解度等を担当教員間で共有し、適切な支援が行えるように尽力している。また、学生と共に保育における子どもの表現活動の現場を見学し、本科目の学習内容を保育者がどのように現場で用いているか理解する機会を提供している。さらに、継続的な学習が特に必要とされる実技の技術の定着や学生の集中力の持続に繋がるよう、90分授業を前半後半に分け、実技と理論の両方の学習を1コマの中に取り入れている。</p> <p><音楽Ⅱ></p> <p>取り組んだ楽曲の復習やその後の学習に繋がるように、学生自らが各曲の学習ポイントの記録を行う学習曲リストを取り入れている。また、人前で演奏することに慣れることや他者と音楽する場を増やすためにも、一人ひとりがピアノによる弾き歌いの模擬実践を行える機会を設けている。</p> <p><子どもと表現></p> <p>表現領域の導入にあたる科目として、表現の原点や意義について理論的な学びを深める傍ら、グループワーク形式にて実際の表現遊びに取り組み、生活の中で育まれる感性と表現についての理解を深めている。学生の身に付けた知識と実践が繋がることを意図して、理論学習と実践的学習の両方を毎時間取り入れて授業を進めている。</p> <p><西洋音楽の世界></p> <p>様々な西洋音楽の作品を視聴しながら、音楽史の流れやその作品の背景を理解する授業を行う他、学生自身が関心のある作品についてのプレゼンテーションを行い、自らの考えを表現する力を養う機会を設けている。</p>
	授業改善のための取組	<p>前年度の授業評価アンケートを見直し、特に到達目標の低かった項目について、授業内容の見直しや教授法の改善を図っている。また、学生の理解度を把握するため、単元ごとに習得状況の聞き取りを実施している。それに応じて、授業の始めに前回の復習を行ってから新しい学習に進むようにし、学習の定着率が高まるように努めている。さらに、学生へ最新の動向についての情報提供ができるように、学会や研究会への参加、保育・教育現場に出向くこと等を積極的に行っている。</p>

教育 (つづき)		
2023 年 4 月～2024 年 3 月 (つづき)		
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	<p>< 卒業演習 I > 学生一人一人の興味関心のある分野において知識を深められるよう、図書館やデータベース等を多く利用し、様々な研究に親しむ機会を設けた。多くの研究に触れることで、自らの研究テーマの目的や具体的な内容、方法を主体的に設定できるよう促した。また、学生同士で研究過程を共有する機会をつくり、互いに刺激し合いながら、より良い研究を目指せるように努めた。</p> <p>< 卒業演習 II > 前年度の活動をもとに、個人またはグループで関心のある研究テーマを設定し、卒業レポートの作成に取り組んだ。全体・グループ・個別に分けて指導を行うことで、一人一人の進捗状況に応じた支援が行えるよう努めた。また、ゼミ内発表会ではゼミ生全員が PowerPoint によるプレゼンテーションを行った。さらに、ゼミ生の子育て支援企画が山梨学院学生チャレンジ制度に採択され、子育て支援センターにて親子の音楽表現活動に取り組んだ。</p> <p>< 関連事項 > 卒業演習において、2つの音楽ゼミ生が合同で、子育て支援センターにて「親子 de Enjoy Music!」の実践を行った。この活動は「2023 年度山梨学院学生チャレンジ制度」に採択された。</p> <p>< 修了研究 > 担当なし。</p>
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<p>< 卒業レポートテーマ ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自閉症の認知度と関わりについての調査 ・ 日本とオランダの保育の比較 ・ K-POP と J-POP の魅力について ・ 世代別の音楽嗜好と幼児期の音楽経験の関連について ・ 音楽表現における子どもへの心理的影響について — 協調性にフォーカスを当てて — ・ 手遊び実践における実態調査 — 保育学生への調査を通じて — ・ 保育学生のファッション傾向とファッションに対する考え方 ・ 若者の幸福度調査 — 大学・短期大学・専門学生へのアンケート調査から — ・ 保育者が子どもにできる食物アレルギーの対応について
課外活動	ウィンドブラスアンサンブル顧問	

教育 (つづき)		
2024年3月以前		
主な教育業績	<p><2019年度></p> <p>卒業演習において、ゼミ生が「子どもたちと楽しむ影絵と音楽」の実践を行い、県内3つの保育・障害児施設で発表した。この活動は「2019年度山梨学院学生チャレンジ制度」に採択された。</p>	
研究		
2024年4月～2025年3月		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
—		
2024年3月以前 (主なもの)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) 「幼稚園生活における子どもの表現—ごっこ遊びにみられる音楽に関する表現に着目して—」 (単著)	2020年 3月	山梨学院短期大学紀要 第40巻
(学術論文) 保育における音楽教育を通して育つ「聴く力」とは—乳幼児の聴力の発達に着目して— (単著)	2018年 2月	山梨学院短期大学紀要 第38巻
(芸術発表) 「Spring Concert～春の調べに寄せて」(演奏及び解説) (共同)	2023年 2月26日	meets music 主催
(芸術発表) 「財団設立20周年記念 八王子市芸術文化会館 ステップアップコンサート」(第1部 演奏及び解説) (単独)	2022年 6月11日	公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団主催
(芸術発表) 「八王子市芸術文化会館ロビーコンサート」(演奏及び解説) (単独)	2021年 3月27日	公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団主催
(芸術発表) 「山梨県立美術館ロビーコンサート」(演奏及び解説) (単独)	2021年 3月14日	山梨県立美術館主催

研究 (つづき)		
2024年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(芸術発表) 「デュオリサイタル・ピアノとヴァイオリンの 対話」(演奏及び解説) (共同)	2019年 11月2日	meets music 主催
(芸術発表) 「デュオリサイタル・ロマンス」(演奏及び解説) (共同)	2018年 10月21日 (山梨) 2018年 9月17日 (東京)	meets music 主催
社会貢献		
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等		
2024年4月～2025年3月		
・山梨音楽療法研究会運営委員 (2023年4月～現在に至る)		
2024年3月以前 (主なもの)		
<ul style="list-style-type: none"> ・FM甲府「楽しい子育て～未来へのかけはし～」講師 (2023年10月～11月) ・やまなし未来創造教育プログラム委員会 委員 (2023年4月～2024年3月) ・第14・15回南アルプス市民音楽祭 児童合唱伴奏員 (2022年10月・2023年9月) ・第8回 日本音楽療法学会 関東支部都県別講習会 (山梨) 運営スタッフ (2022年10月) ・山梨県立笛吹高等学校 連携事業 講演 (2021年3月・2022年3月・2023年3月) ・南アルプス市内児童合唱団参加イベント伴奏 (アドブレーション・共立・NTT-F 共同事業体主催「ウラシマコタロウものがたり」等) (2021年) ・第41回山の都ふれあいコンサート 運営補助 (2021年11月) ・山梨市岩手公民館主催 岩手地区の高齢者及び小学生に向けての演奏 (2018年・2019年) ・後屋敷公民館主催 歌の会 講師 (2016～2018年・年1回) ・三富町公民館主催 地域高齢者合唱団 講師 (2013年9月～2017年11月・秋期～冬期) ・御坂町公民館主催 地域高齢者合唱団 講師 (2013年9月～2017年11月・秋期) 		
受賞 ※個人、所属団体		
—		